

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後 平成 21 年 3 月 26 日 作成
20年度決算把握後 平成 21 年 5 月 20 日 作成

事務事業名	市バスの運行方法等の検討事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input checked="" type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり	所属部	総務企画部	課長名 後藤一男
	施策	24	行財政改革の推進	所属課	総務課	担当者名 上山幸頭
	基本事業	83	計画的な施策・事業の推進	所属班	総務・男女共同参画班	(内線) 1211
				法令根拠	合志市バス管理及び使用規程	

予算科目	会計	款	項	目	事業連番	<input type="checkbox"/> 20年度で終了	<input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果	11
	1	2	1	1	-			コスト削減優先度評価結果	6
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度		年度)	<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (平成19 ~ 平成22 年度)			

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】
合志市集中改革プランの1、事務・事業の見直しの(5)公用車管理の適正化の「公用車の効率的利用と必要最小限台数の確保を行うとともに、リースや業務委託等への切り替え並びに廃止等の方法も積極的に導入します。」の事項に基づき、バスの運行方法等について、類似事業との統廃合・連携、民間委託等の検討を行う。

【業務の流れ】
業務の内容が、1、福祉施設の利用の際の運行と2、各種団体(生き生きサロン、各種団体、地域団体、学童クラブ等の使用及び市の主催事業)の利用とに分かれるので、その2つの運行方法について類似事業との統廃合・連携、民間委託等の検討を行う。

【主な予算費目】
1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		
① 手段(主な活動)	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN)	(単位)
20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO)	市バスの運行実績及び経費について比較検討し、今後の運行方法および実施時期を決定する。	
正規職員での運行経費と民間委託による経費を検討していたが、よりコスト削減できる方法を検討した。		
22年度から1台を嘱託職員で、1台をシルバー人材センターに委託して運行することを想定し、シルバー人材センターに見積もりを依頼した。		
	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標	(単位)
	→ ア 検討回数	回
	イ 調査回数	回
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標	(単位)
市バスの運行方法	→ ア 検討事項数(統廃合・民間委託)	件
	イ	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標	(単位)
市バスの運行及び管理方法について、類似事業等との統合ができるか、また、市で運営するか、民間委託等への切り替えるか、廃止するかを決定する	→ ア 検討事項の決定事項数(統廃合・民間委託)	件
	イ 運行の費用削減率	%
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか)	⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標	(単位)
計画的に実施されている	→ ア 年度目標を達成した施策の成果指標数	件
	イ 年度目標を達成した施策の成果指標の割合	%

(2) 総事業費・指標等の推移													
投入量	事業費	国庫支出金	千円	18年度実績(決算)	19年度実績(決算)	20年度目標(当初予算)	20年度実績(決算)	21年度目標(当初予算)	22年度(目標)	23年度(予定)	全体計画 平成19 ~ 平成22 年度		
		都道府県支出金	千円		0	0	0	0	0	0	0	総トータルコスト (期間限定複数年度のみ記載)	
		地方債	千円		0	0	0	0	0	0	0		
		その他	千円		0	0	0	0	0	0	0		
		繰入金	千円		0	0	0	0	0	0	0		
		一般財源	千円		0	0	0	0	0	0	0		
		(A) 事業費計	千円		0	0	0	0	0	0	0		0
		うち指定経費	千円										
		うち時間外、特殊勤務手当	千円										
		人件費	正規職員従事人数	人		4	4	1	4	4	4		0
延べ業務時間	時間		99	250	20	250	250	250	0	849			
(B)人件費計	千円		0	394	995	80	995	995	995	0	3,379		
トータルコスト(A)+(B)	千円		0	394	995	80	995	995	995	0	3,379		
活動指標	ア 回数			2	3	2	3	2	2	0	10		
	イ 回数			1	3	2	2	2	2	0	9		
対象指標	ア 件			2	2	2	2	2	2	0	8		
	イ 件			0	0	0	2	2	2	0	2		
成果指標	ア 件												
	イ %												
上位成果指標	ア 件												
	イ %												

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
H18.12.5に策定されました合志市集中改革プランの1、事務・事業の見直しの(5)公用車管理の適正化の「公用車の効率的利用と必要最小限台数の確保を行うとともに、リースや業務委託等への切り替え並びに廃止等の方法も積極的に導入します。」の事項により市バスの検討をH19年度から開始しました。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
合志市の経費削減の方向性で進んでおり、廃止等も含めた運行費用の削減が求められている。
ただし、各種団体(生き生きサロン、各種団体、地域団体、学童クラブ等の使用及び市の主催事業)等利用状況は2台で年間330回と高い。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
特になし。

事務事業名	市バスの運行方法等の検討事業	所属部	総務企画部	所属課	総務課
-------	----------------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部(SEE) *原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】⇒ 市バスの運行事業(市バスの管理の適正化事業)の運行方法等を検証することで事務事業の効率化につながる。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】⇒ 市バスの運行事業を検証するためにも妥当である。
	③対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】⇒ 「公用車の効率的利用と必要最小限台数の確保を行うとともに、リースや業務委託等への切り替え並びに廃止等の方法も積極的に導入します。」の事項のに伴う市バス検討で妥当である。
有効性 評価	④成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】⇒ 市バスの運行状況を維持した上で経費削減ができるかどうかの判断ができる。
	⑤廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】⇒ 経費削減ができるかどうかの判断ができない。
	⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒(具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ 本事業の基本は政策4の施策15の基本事業43の市バスの管理の適正化事業で運行している市バスの運行方法なので管理事業と統合し、検討する。また、事業の一つの運行(福祉施設の利用に伴う運行については市バス <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】⇒
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 調整会議のみであり、特に必要な事業費はない。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 職員による検討会議のみである。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】⇒ 費用は特になく、市バスの運行事業(市バスの管理の適正化事業)の運行方法等を検証することで事務事業の効率化につながる。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)												
<table border="0"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>①目的妥当性については、すべてにおいて妥当である。</p> <p>②有効性については、市バスの管理の適正化事業と統合し、検討する。また、運行方法については、1市バスの運行状況を維持した上で経費削減ができるかどうかの判断が必要。2、事業の一つの運行(福祉施設の利用に伴う運行については市バスと循環バスとの調整が必要であるので検討会議の進行に伴い調整を行う。</p> <p>③効率性については、職員による検討会議のみで削減の余地がない</p>
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり											
② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり											
③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり											
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり											

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 事業の基本は政策4の施策15の基本事業43の市バスの管理の適正化事業で運行している市バスの運行方法なので管理事業と統合し、検討する。また、合志市集中改革プランの1、事務・事業の見直しの(5) 公用車管理の適正化の「公用車の効率的利用と必要最小限台数の確保を行うとともに、リースや業務委託等への切り替え並びに廃止等の方法も積極的に導入します。」の事項に基づき、バスの運行方法等について、類似事業との統廃合・連携、民間委託等の検討が必要。また、事業の部については、類似事業との	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上		○																				
	維持																						
	低下																						

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
市バスの運行方法(循環バスとの調整、民間委託、廃止)を検討する。

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	9	(直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9)
(2) 貢献度	11	(貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12)